

# いきいき

今号のテーマは  
心からの「ありがとう！」



岡山県の連携施設から戴いた御樽を割る小山理事長と地域のお客様



来賓の方もゲームに参加されました



400名のお客様で今年も大盛況!

平成22年  
ピュア・サポートグループ

## 感謝祭

地域の方々やボランティアの皆様、近隣医療機関の先生方など、当グループとご縁のあるお客様を招き、平成22年【ピュア・サポートグループ】感謝祭を、1月29日に熊本ホテルキャッスルで開催。グループ全体で多彩な芸を披露し、感謝の意を表しました。



参加者みんなで舞台を応援



事業所別に出し物を披露



体を張った【おとなの学校】本校スタッフの熱演

私はとんでもなく運が良く、信じられないくらい多くのご縁を戴きました。だから、ここまで進むことが出来たのです。それは間違いない事実。実力以上の運とご縁があつてこそ今の心から感謝しています。これから、もっとと苦勞するでしょうが、どんな運とご縁に巡りあうかと思うとワクワクします。人生って楽しい!

『あんな女が経営出来るのは、隠し財産があるからだ』とか、「誰か別の人間が経営しているのだから」とか、色んな噂を立てられながらの歲月。こんな言われ方に腹が立たないわけはありません。しかし、大過なく15年が過ぎた今、しみじみ思うのは全てが感謝だと言うことです。

医療法人社団大浦会を実質的に担っていた母が亡くなり、私が経営を引き継いだのが32歳の時。さらに、父が亡くなり理事長となったのが37歳。それから10年が経過しました。

ピュア・サポートグループ代表  
小山敬子

「運と、縁と、ありがとう」が  
いっぱい的人生

## 目標があるから頑張れる!

### おとなの学校成果発表会

**2** 010年最初の「おとなの学校」成果発表会を、1月16日に行いました。寒さの厳しい時期にも関わらず、生徒さん達は元気に参加！合奏など集団での発表から、習字、大正琴、編み物など趣味や特技を活かした個人発表まで、様々な成果が披露されました。どなたも、この舞台に立つことを目標に日々の学習に取り組まれただけに、充実感に満ちた笑顔が印象的。またこの日は、ご家族も多数お越しになりました。



オール甲の通知表をもらいご満悦の生徒さん

## 演芸訪問団「フランク一座」来る!!



フランクさんの甘い歌声に生徒さんから歓声も!

**1** 月20日、歌謡教室主宰で歌手でもあるフランク座が、「おとなの学校」本校を訪問。昭和の懐かしいメロデーに乗せて歌や踊りを披露する、ボランティアショーを行いました。お客様は、耳なじみのある曲に合わせて手拍子をするだけでなく、マイクを向けられると大きな声で唄う方も。大満足の楽しさに「また来て!」の声も上がっていました。

## ゆっくり療養、安心の暮らし

### ホスピケアホーム ファイン3周年

入居に際して日数や年齢の制限がない【ホスピケアホーム ファイン】は、身体に障がいのある方やがん末期の方などが、ゆっくり過ごせる療養環境(酸素吸入・吸引付きベッド)を整備。スタッフが24時間常駐し、安心の暮らしをサポートしています。入居時には助けた方の外出が可能になるなど、嬉しい出来事もたくさん。今年で開設3周年を迎えました。ご利用等のお問い合わせはフリーコールどうぞ。



中庭を望むリビング

## 音楽の力で心身を健やかに

### ファイン回復期リハビリ病棟

1月21日、【メディカルケアセンター ファイン】回復期リハビリテーション病棟では、音楽療法ボランティアグループ「UNO(ウノ)」の尾原さん・中村さん・上田さんを招き、音楽の力を活用したリハビリを実施しました。ご参加のお客様は自分で楽器の音を出したり、唄ったりする中で、いつも以上に手足の動きが活発に。表情も豊かになっていましたよ。



音楽療法でリハビリ効果も上々!

ほら、自分で帯も結べるよ。

親子で和装年中行事を学ぶ講座

**【熊】**本市母子福祉センター]では、平井洋子先生の指導による「親子で和装・年中行事を学ぶ講座」(全7回)を開催。30名の親子さんが申し込み、浴衣の着付けや正しい箸の使い方、敬語の使い方などを受講されました。1月17日の講座には6組13名の親子さんが参加。訪問マナーや座り方、贈り物の渡し方などを教わった後、浴衣の着付けと帯の結び方を練習。小学1年生の女兒も自分で出来るまで頑張っていました。



自分で帯を結ぶ子ども達

社会福祉法人 照教会

NPO(非営利性法人) ここへおいでよ

「受講生のつどい」3月14日  
「開講式」は4月3日です。

平成21年度の講座の成果を披露する「受講生のつどい」を3月14日(日)に開催。近隣の方々のご参加をお待ちしています。どうぞ気軽にご見学ください。また、平成22年度の「開講式」は4月3日(土)に実施します。新規の就労講座や教養講座なども多数企画。ぜひお問い合わせください。

平成22年度、講座日程を記載した「センター講座案内」をご用意しています。4月1日から当センター窓口及び市役所子育て支援課、各市民センター等の公共機関の窓口で配布いたします。

各種相談(法律(要予約)・就職・家庭一般・医療・介護)も実施中です。ひとりで悩まず、どうぞ気軽にご利用ください。



●お問い合わせ

熊本市 母子福祉センター

熊本市水前寺4-47-50

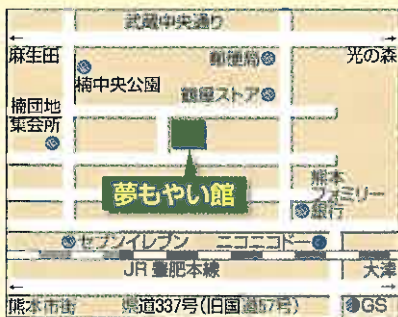
■休館日 月曜

TEL096-385-1160

FAX096-385-1379

熊本市 夢もやい館

その後、小山理事長をはじめ、無理なお願いを聞いてくださった多数の方々の暖かいご支援で、無事に務めを終えることが出来たことに深く感謝しております。  
【夢もやい館】での最大の収穫は、多くの人と出会ったことです。共に働いた仲間、サポートしてくれたグループのスタッフ、当館をご利用いただいた高齢者や子育て中のお母さんと子ども達。その貴重な出会いを大切に、私達は次へのステップを力強く踏み出していきたいと決意しております。



■住所 t862-8003 熊本市楠1-20-5-101  
■電話 ☎096-338-3210  
■休館日 日曜・祝祭日



苦業を共にした頼れるスタッフ

我らはここに集い、共に歩んだ。

夢もやい館館長 菊川 輝範

# 安心の住み替え！ 高齢者優良賃貸住宅



リビングルーム(例)



個室(例)

「ゆるやかな共同生活」。それが高齢者優良賃貸住宅の特徴です。ご入居者は個室で自由に過ごし、食事などは一緒にいただく

のご入居も可能です。

長嶺西の「はっぴいはうす五番館」も地域のクリニックに隣接し、シユロアモールから徒歩5分前後。日赤病院へも徒歩約8分と利便性に富み、安心出来る居住環境です。また、自動ドア・エレベーターを完備し、軽度の認知症の方

のご入居も可能です。

尾ノ上と長嶺西の2カ所  
当グループには2つの高齢者優良賃貸住宅があります。尾ノ上4丁目の「はっぴいはうす武番館」は、ケアハウス「ゆいの家」の隣。静かな住宅地ですが、徒歩5分以内で医療機関や金融機関、スーパーなどが揃い、バス停も徒歩3分の近さです。

## はっぴいはうす五番館

- 住所／熊本市長嶺西1-6-93
- 交通／市営バス(託麻南線「南原」バス停より徒歩2分)
- 居室／全室個室(18室)・食事付(3食)
- 入居／お申し込み資格・料金などはフリーコールでお尋ねください。  
(軽度の認知症の方の入居可)
- 設備／エレベーター(寝台対応)・緊急通報設備・スプリンクラー・エアコン・共有浴室・洗浄便座(汚物洗浄用シャワー付)など

## はっぴいはうす武番館

- 住所／熊本市尾ノ上4-11-83
- 交通／市営バス(小峯線「新外入り口」バス停より徒歩3分)
- 居室／全室個室(18室)・食事付(3食)
- 入居／お申し込み資格・料金などはフリーコールでお尋ねください。
- 設備／エレベーター(寝台対応)・緊急通報設備・スプリンクラー・エアコン・共有浴室・洗浄便座(汚物洗浄用シャワー付)など



26の業務改善例が発表されました。

## ピュア・サポートグループ 平成21年度 事業所別研究発表会

表彰されます。

度「ピュア・サポートグループ事業計画発表会」で

の優秀事例と同様、「業務改善の部」の優秀事例も、3月19日開催の平成22年度「ピュア・サポートグループ事業計画発表会」で

表彰されます。

「顧客満足研究発表会」の優秀事例と同様、「業務改善の部」の優秀事例も、3月19日開催の平成22年度「ピュア・サポートグループ事業計画発表会」で

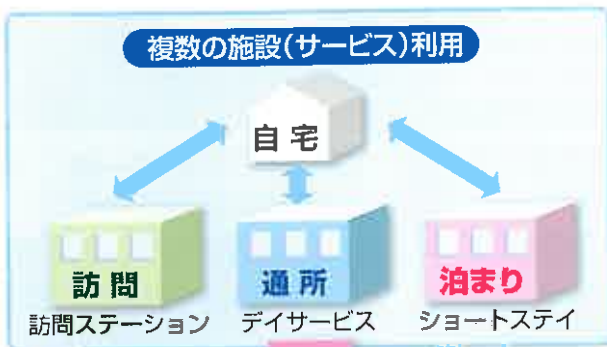
表彰されます。

2月21日、県立大学ホールで「ピュア・サポートグループ」の平成21年度・事業所別研究発表会「業務改善の部」を開催。医療・介護・福祉に関連する26の演題が発表され、効果的な業務改善例が報告されました。内容も発表技術も年々向上。参加者は「具体的に分かりやすい。参考になる」と話していました。

スキルアップ委員会

# 「もう一つの我が家」＝ 小規模多機能型居宅介護

おおうらさんち / はぴはつす / はぴはつす 参番館 / はぴはつす 六番館



小規模多機能型居宅介護は、「通い」「訪問」「泊まり」の介護サービスを1カ所で行う「オールインワン」施設。少し大きめの家に馴染みのスタッフがいて、ご利用者に必要なサービスを提供する所です。利用する施設や介護スタッフの変動がないので、「認知症の方々の混乱も少ない」とされています。さらに、介護に関する契約やサービス調整もここでいきます。『連絡ミスが防げる』とご家族にも好評です。

**介護保険分の負担は一定**

これまで「通い」「訪問」「ショートステイ」のサービスを複数の施設から受けていた方が、「サービスが1カ所で済むので心身の状態が安定した」と喜ばれた例もあります。

また、料金（介護保険分）は利用頻度に関わらず介護度ごとに一定なので、負担額の変動が少ないのも特徴です。

当グループには現在、小規模多機能型居宅介護が4つあります。それぞれ近隣のお客様が、もう一つの我が家として利用されています。



お客様と馴染みのスタッフで仲良く  
恵方巻きづくり(はぴはつす六番館)



泊まりは明るく清潔な個室  
(はぴはつす六番館)

- 料金/介護度により介護保険告示上の1割(食費・おやつ代・おむつ代・くもん学習療法などの実費負担は別途)
- スタッフ/24時間常駐
- サービス/地域密着型の介護、通いを中心に泊まり・訪問(送迎あり)
- 利用条件/要介護・要支援認定を受け、熊本市に住所がある方(認知症の方を含む)

お問い合わせは下記のフリーコールでお気軽に！

**参加無料**

「きらきら★  
みんなで子育て研修会」  
3月13日(土)開催



昨年1月に続き、NPO法人「こころおいでよ」(財)ことも未来財団との共催で、3月13日、くまもと県民交流会館パレアで、みんなで子育て研修会事業「きらきら☆みんな子育て研修会」を開きます。

当日は、テレビ・新聞でも紹介されたプロレスリング求道軍(くどうぐん)代表・幸村ケンシロウ氏の講演も！参加無料ですので、ぜひお越しください。お問い合わせはフリーコールで。なお、2月14日にはウエルパークまもとで子育て支援事業の講演やワークショップを実施。これらの取り組みは次号(156号)でご紹介します。



## 威勢のいい掛け声で餅つき

尾ノ上校区7町内

12月26日に、尾ノ上7町内と【ピュア・サポートグループ】合同の餅つき大会を開催。地域の方々はもちろん、【おとなの学校】本校や【フィン】のお客様も駆けつけ、フィン前の広場は熱気に包まれました。また、近隣の子ども達や【ここへおいでよ】園児らも、間近で聴く杵の音に興奮気味でした。

## ピュア・サポートグループ (PSG) の地域行事支援

地域行事をお手伝いします!



タガミマ〜

## 癒しのアロマでリラックス

泉ヶ丘校区



1月29日の泉ヶ丘校区ふれあい交流サロンは、コールセンターの上田裕紀子によるアロマセラピー講座を実施。アロマの歴史や効果について説明した後、参加者のお気に入りの香りを付けたクリームを使ったマッサージを指導しました。特に美肌のツボに効くマッサージは大好評でした!

## 元気いっぱい、白熱のゲーム

健軍校区1町内



健軍1町内の31回目の「いきいきサロン」が1月18日に開かれ、【おとなの学校】本校の久保山介護士がお手伝い。体と脳の動きを促す軽い運動やゲームを指導しました。25名の参加者は、4チームに分かれて得点を競いながらも和気あいあい。終始、笑いが絶えませんでした。

## 餅つきで地域が一体に!

尾ノ上校区8町内



尾ノ上8町内と【ゆいの家】の合同餅つき大会が、12月28日に行われました。老人会の皆様や集まった親子連れの元気な掛け声に誘われて、【ゆいの家】のお客様も玄関前に集合。飛び入りで餅つきに参加される方もおられました。出来上がったお餅は、【ゆいの家】1階ロビーで振舞われました。

## 回想法で思い出話に花

山ノ内校区3町内



2月15日の山ノ内3町内サロンでは、移動教室として【おとなの学校】本校の言語聴覚士・白木が「保健体育」(嚥下障害の予防)を、介護部責任者・種子永が「社会科」(回想法)を指導。「子どもの頃の遊び」などのテーマに沿って、各自が思い出話を披露する回想法では、時間が経つのも忘れて盛り上がりました。

## 知っておきたい「認知症」

健軍東校区



1月27日の健軍東校区ふれあい交流サロンでは、【メディカルケアセンター フィン】の北野院長が認知症についての講話を行いました。認知症の種類や原因、最新の治療法や研究成果などを分かりやすく説明。参加した約15名の皆様も、「とても役に立った」と認知症への認識を新たにしていました。

## 唄って笑って健康長寿

鳥出校区



1月26日に行われた月出校区ふれあいサロンは、同校区で年1回の恒例行事となっている、当グループボランティアの齊藤さんによる歌謡教室。「喜びを分かち合い、悲しみを癒すのが音楽」と話す齊藤さんが、次々と懐メロや唱歌を披露すると、参加者も声を合わせて元気に唄っておられました。

## リスクマネジメント委員会報告

在宅のお客様で「ピュア・サポートグループ」の介護サービスを利用中の方から出されたご要望に対して、生活に即した対応(ヘルプづくり)を行った事例をご報告します。

### 【ご要望の内容】

■お客様は病院を退院後、自宅で同居の方と暮らし続けておりましたが、事情により1人暮らしに。ご本人様は要介護3で片足があるため、車椅子を使用中です。そのため、「ヘルパー」などが自宅を訪れる際、自分が玄関まで出てドアを開けるのは困難。出来れば力手を預かってほしいとの要望を寄せられたのです。

### 【対応】

①これまで、在宅療養のお客様の力手の預かりは前例がないため、グループ全体で統一した対応が必要と考え、緊急に「リスクマネジメント委員会」を開催。②お客様の心身の状態を考慮し、おひとりでの生活が適当か、安全面での懸念はないか、などを検討しました。そして、最終的にはお客様にとって最善の方法を取りたいと考え、サービス担当者会議を開いてもらうことにしました。

### 【結果】

■サービス担当者会議では、「自宅での暮らしを継続したい」とのお客様の意向を尊重し、それを支えるには力手を預かることも必要」との結論に至りました。それを受けて、グループ内での「力手の預かりルール」を定め、その手順に沿ってスタッフが力手を預かることになりました。

■今後、同様の事例が生じた場合も「リスクマネジメント委員会」を開催。誠意を持って個別の対応策を検討してまいります。



はっぴい実現委員会

ファイナー階ロビーに展示



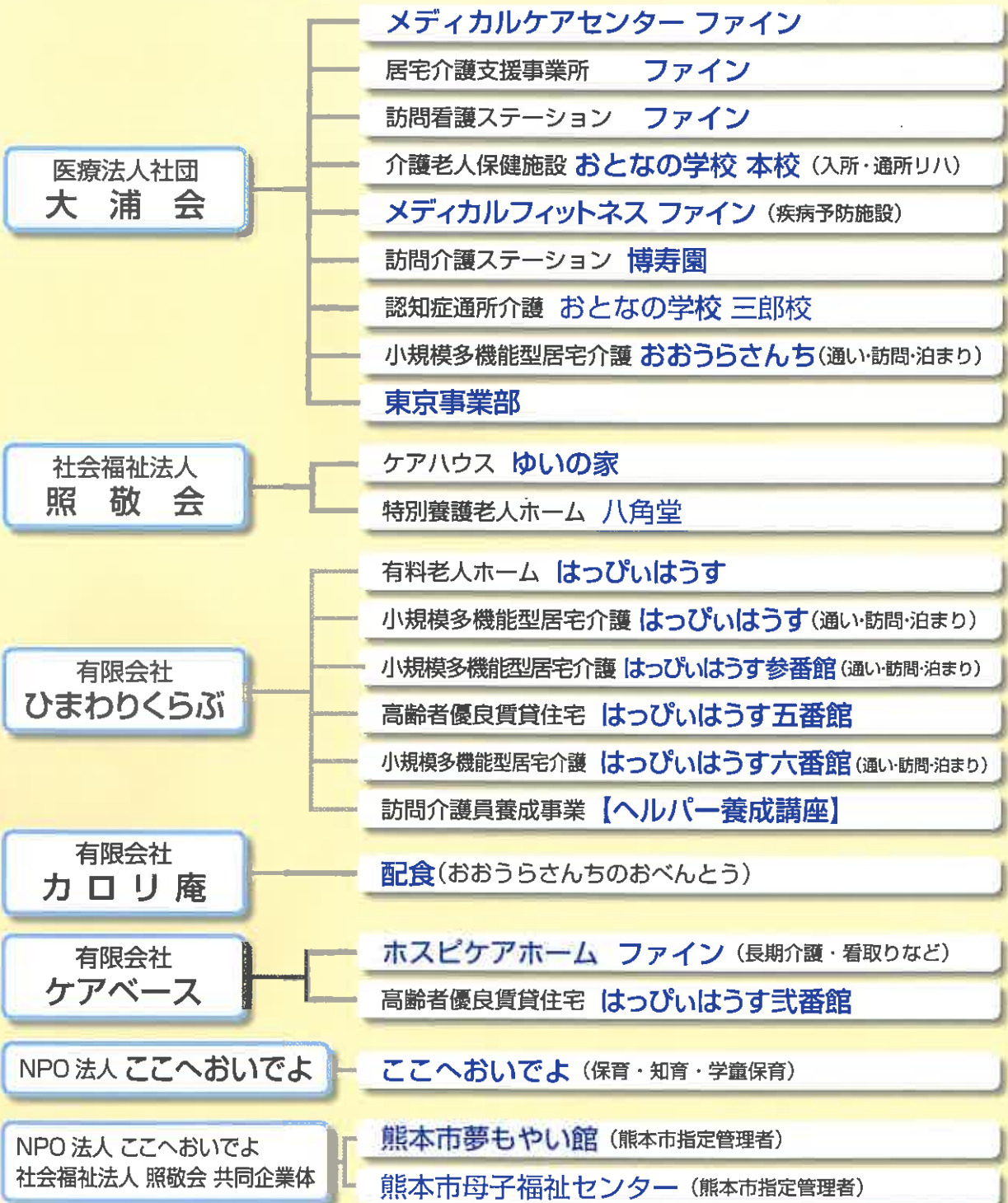
きらり★Happy み～つけた!

早春企画として、笑顔をテーマにグループ内20施設対抗のフォトコンテストを実施。その結果、たくさんの笑顔の写真が集まりました。出来栄を審査するのはグループの新人達。自分が所属する施設以外の「一番の笑顔」に投票してもらいました。当委員会では最優秀賞・優秀賞など6作品に賞金を用意。結果は1月29日開催の「PSG感謝祭」で発表しました。



ピュア・サポートグループは多彩な事業を展開し、地域の皆様に癒しと安心をお届け致します。

ピュア・サポートグループ



各事業のお問い合わせ・ご注文は  
コールセンターへどうぞ!

フリー  
コール **0120-125253**